

## 実践FS計画書

実践FS研究課題名	(和文)
	(英文)
FS申請者	(所属・職名・氏名を記載)
プロジェクトの種別	※いずれかを選択し、それ以外を削除してください。 個別連携型 ・ 機関連携型

注) 1番～4番までを4ページ以内、5番は5ページ以内、6～7番は1ページ以内で記載してください。

### 1 研究概要

本計画の概要について、和文(400文字程度)にて記載してください。

### 2 研究目的

実践プロジェクトに求めるもの(1)(2)(3)(9)関連

本欄には、以下を含め、研究目的を記載してください。

- ① 当該研究の対象とする「地球環境問題」とは何か。その地球環境問題のどのような解決に資するのか。
- ② 研究の学術的背景(本研究に係る国内外の研究動向、申請者のこれまでの研究成果を踏まえ着想・問題設定に至った経緯等)。
- ③ 地球環境問題の解決につながる新しい枠組み・視点を提案し、それがなぜブレイクスルーにつながるのか。
- ④ プロジェクトの最終目的として、何をどこまで明らかにするのか。

### 3 研究計画・方法

実践プロジェクトに求めるもの(4)(5)(7)(8)(9)関連

本欄には、以下について記載してください。

- ① 研究目的を達成するための全体の研究方法・具体的な手法、実践FS期間における研究計画について記載してください。
- ② 所属希望の実践プログラムを1つ選び、その理由を明記してください。

希望プログラム名	希望プログラムを選択してください。
----------	-------------------

### 4 期待される成果

実践プロジェクトに求めるもの(4)(5)(6)関連

実践プロジェクトに進展した場合に期待される最終的な成果及びその成果の国際的な発信について記載してください。

## 5 研究業績

実践プロジェクトに求めるもの(2)(9)関連

本欄には、発表した論文、著書、招待講演、受賞歴などの一般的な研究業績の他、本プロジェクトの運営に資すると推測される共同研究の運営実績、外部資金の獲得実績、あるいは社会における実践的な取り組み実績などの本共同研究に係る業績を記入してください。主に、過去5年分の業績を中心に記載し、それ以前でも関係の深い業績などは記載してもかまいません。記載にあたっては、現在から発表年次ごとにさかのぼり、通し番号を付加してください。FS申請者には下線を付し、査読の有無を記載してください。

## 6 予算計画 上限金額 4,000千円

## 所要経費合計

千円

旅費			合計	千円
国内/外国の別	旅行区間(時期)	日数	回数*	金額
例) 国内	東京～与論島(7月)	3泊4日	2	180千円
諸謝金			合計	千円
物品費			合計	千円
その他			合計	千円
			所要経費合計	

費目の例示 ※ ページ数が不足する場合は、例示は削除してください。

旅費： 資料収集やフィールドワーク、打合せ旅費 等

諸謝金： 研究調査等の協力謝金 等 ※実践FS段階では、原則、人の雇用はできません。

物品費： 消耗品 等 (ソフトウェアも含む)

実践FS段階では、設備備品(単価10万円以上の機器類等)の購入は認められません。

その他： 会場費、印刷費、業務委託費、通信運搬費 等 (上記に該当しないもの)

\* 回数は、延べ数で記載 例)2人分の旅費の場合は、「2」。

## 7 研究組織 (実践FS研究に参画(予定)する者を記入してください)

実践プロジェクトに求めるもの(4)～(7)関連

氏名	所属機関	職名	役割分担

※ ご本人の承諾を得てから記載してください。